

第56回 景気動向レポート

2025年10～12月期

○概要

調査時期 2025年12月上旬
 調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、
 伊勢原市、秦野市、座間市、
 海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡

全調査先 当金庫取引先 319先
 回答先数 当金庫取引先 316先
 (内訳) 製造業：63先
 卸売業：19先
 小売業：47先
 サービス業：74先
 建設業：84先
 不動産業：29先

回答率 99.1%

○調査方法

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、
 調査先による直接記入・回収方式

○分析方法

DI (Diffusion Index)
 DIとは、各質問項目に対して「良い(増加・上昇)」
 と回答された企業の割合から「悪い(減少・下降)」
 と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。
 DIがプラスであれば上向き、0であれば現状維持、
 マイナスであれば下向きというように判断できます。

業況DIの推移(業種別DI天気図)

	2024年 10-12月期	2025年 1-3月期	2025年 4-6月期	2025年 7-9月期 (前期)	2025年 10-12月期 (当期)	2026年 1-3月期 (予想)
製造業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
卸売業	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️
小売業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
サービス業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
建設業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
不動産業	☁️	☀️	☁️	☁️	☀️	☀️
全業種	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️



全業種

今期：業況・売上・収益DI共に改善

来期：業況・売上・収益DI共に悪化の見込み

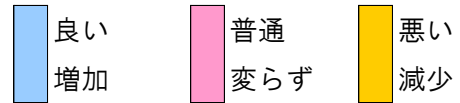
2025年10～12月期の当金庫営業地区内における業況DIは、対前期比+10.4ポイントの12.3と大幅な改善。製造業・小売業・建設業・不動産業が改善、卸売業・サービス業が悪化となりました。

売上DIについては、対前期比+8.9ポイントの17.4となり、収益DIは対前期比+5.7ポイントの6.6となりました。

その他のDIでは、販売・料金・請負価格DIは対前期比▲1.5ポイントの27.8、仕入・原材料・材料価格DIは対前期比+3.6ポイントの49.7、資金繰りDIは対前期比▲3.4ポイントの▲4.7となりました。

来期（2026年1～3月期）の業況予想では、サービス業で改善、製造業で横ばい、卸売業・小売業・建設業・不動産業で悪化を予想しており、全業種総合業況DIは、対当期比▲2.8ポイントの9.5と悪化を見込んでいます。

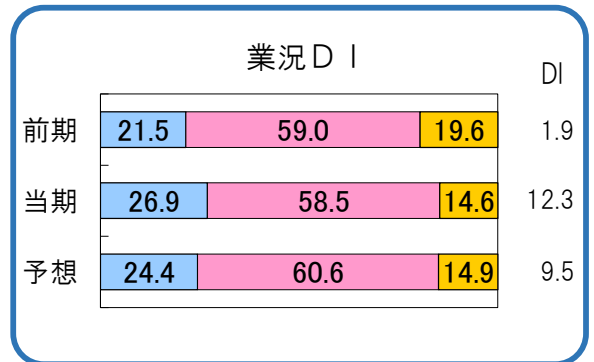
主要DI構成



○業況DI



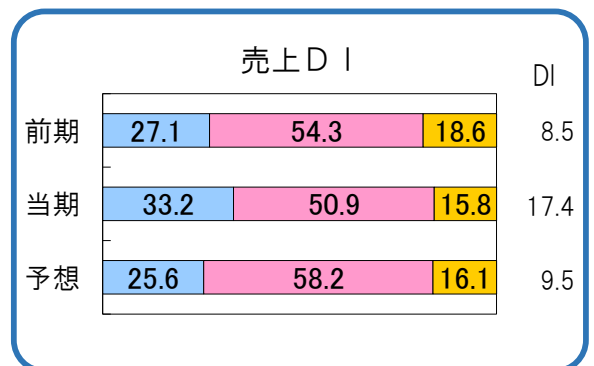
業況DIは、対前期比+10.4ポイントの12.3(前年同期6.7・前回予想との差+4.7)と大幅な改善となりました。今後の業況DIは、サービス業で改善、製造業で横ばい、卸売業・小売業・建設業・不動産業で悪化を予想しており、全業種総合業況DIは、対当期比▲2.8ポイントの9.5と悪化を見込んでいます。



○売上DI



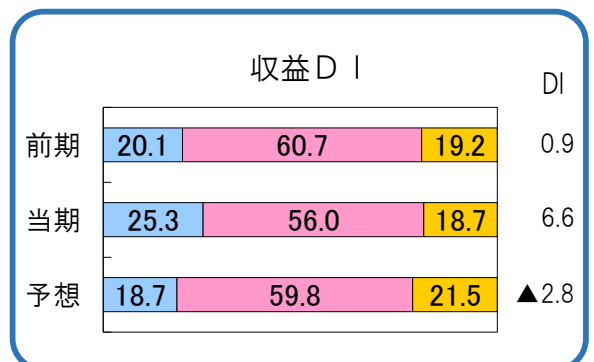
売上DIは、対前期比+8.9ポイントの17.4(前年同期10.2・前回予想との差+0.4)の改善となりました。今後の売上DIは、対当期比▲7.9ポイントの9.5と悪化を見込んでいます。



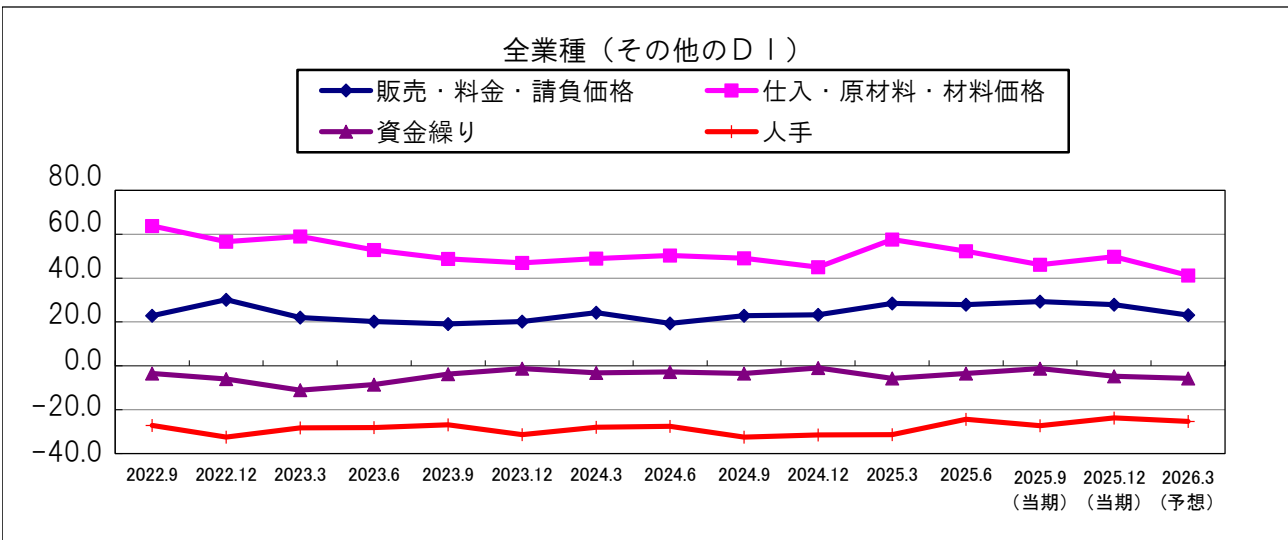
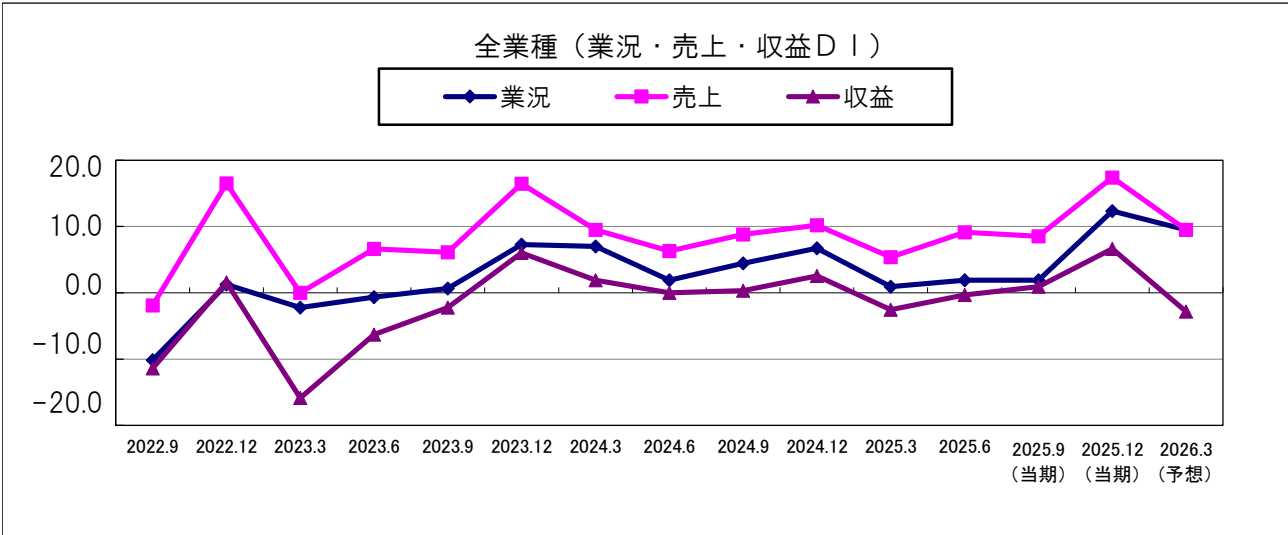
○収益DI



収益DIは、対前期比+5.7ポイントの6.6(前年同期2.5・前回予想との差▲2.3)の改善となりました。今後の収益DIは、対当期比▲9.4ポイントの▲2.8と悪化を見込んでいます。



D I の推移



経営サポートセンターNEWS

経営者・創業希望者の皆様へ
課題解決のサポートをさせていただきます！！

◎主なサポートメニュー

- 創業支援
- 販路拡大
- M & A
- 事業承継
- ICT
- 補助金等

◎課題解決に関するお問い合わせは

〒254-0043 平塚市紅谷町11-19
平塚信用金庫 営業統括部 経営サポートセンター
TEL：0463-24-3031

TRiBank Hiratsuka
平塚信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/hiratuka/>

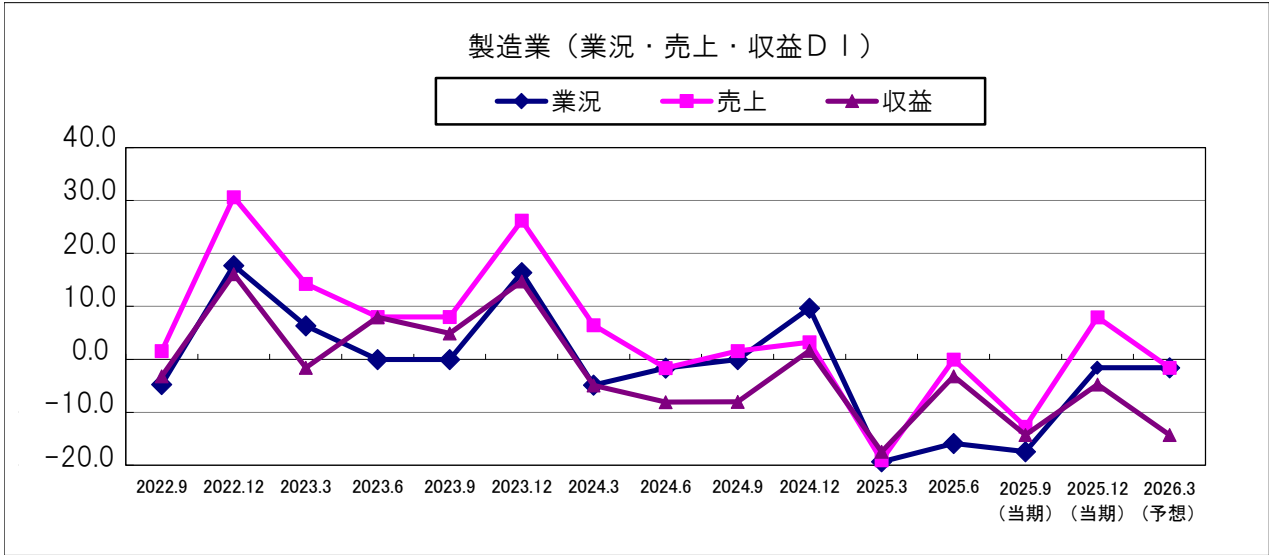
経営サポートセンターでは、多くの専門家や外部機関と連携して、お客さまの課題解決に取り組んでいます。お困りごとは、是非ひらしんまで。お客さまと共に課題解決のサポートをさせていただきます！

製造業

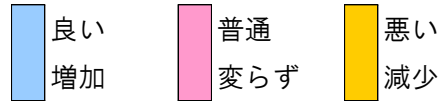
今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況D Iは横ばい、売上・収益D Iは悪化の見込み

主要D I 推移



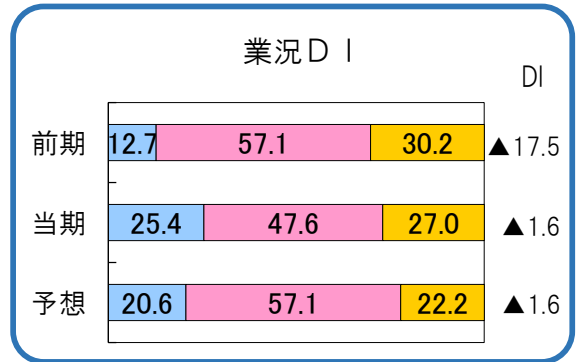
主要D I 構成



○業況D I



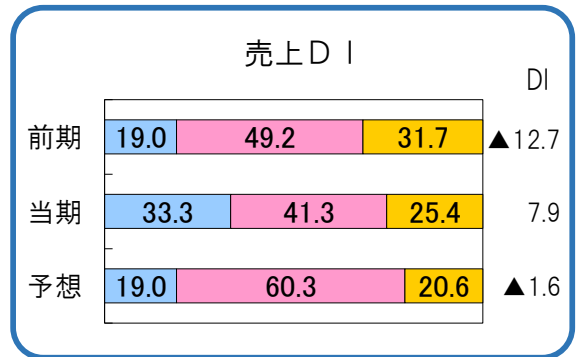
業況DIは、対前期比+15.9ポイントの▲1.6(前年同期9.7・前回予想との差▲3.1)と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比±0.0ポイントの▲1.6と横ばいを見込んでいます。



○売上D I



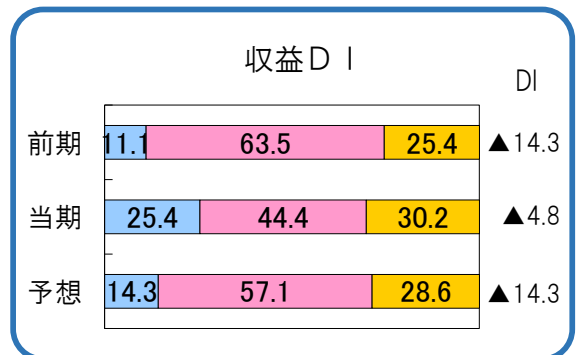
売上DIは、対前期比+20.6ポイントの7.9(前年同期3.2・前回予想との差▲8.0)と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲9.5ポイントの▲1.6と悪化を見込んでいます。



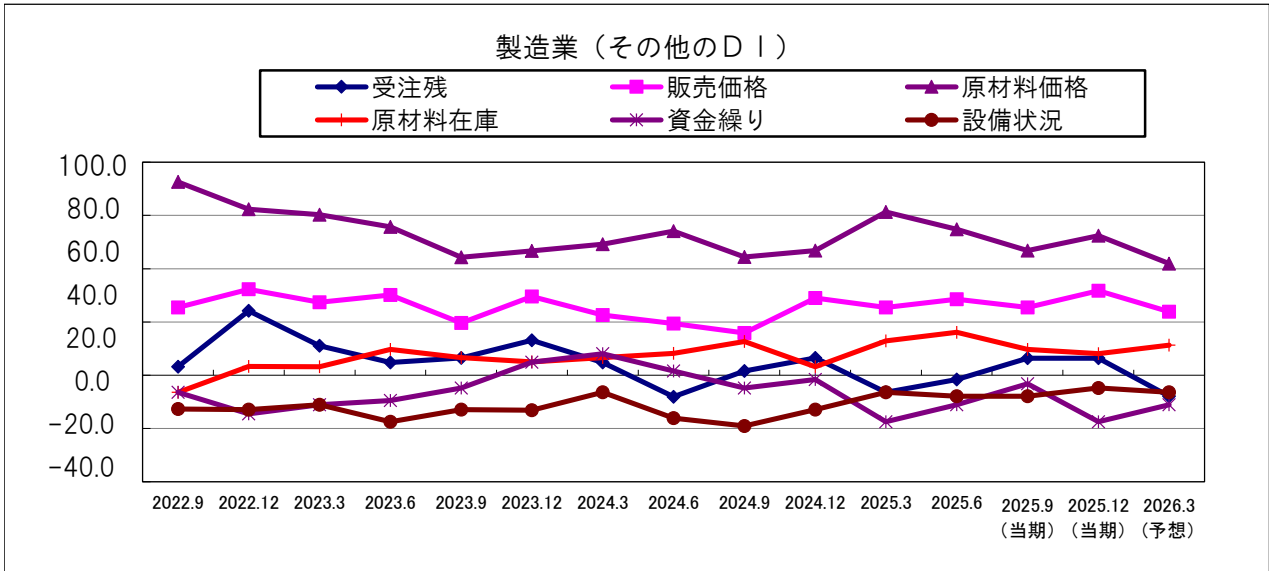
○収益D I



収益DIは、対前期比+9.5ポイントの▲4.8(前年同期1.6・前回予想との差▲6.4)の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲9.5ポイントの▲14.3と悪化を見込んでいます。



その他のDI推移

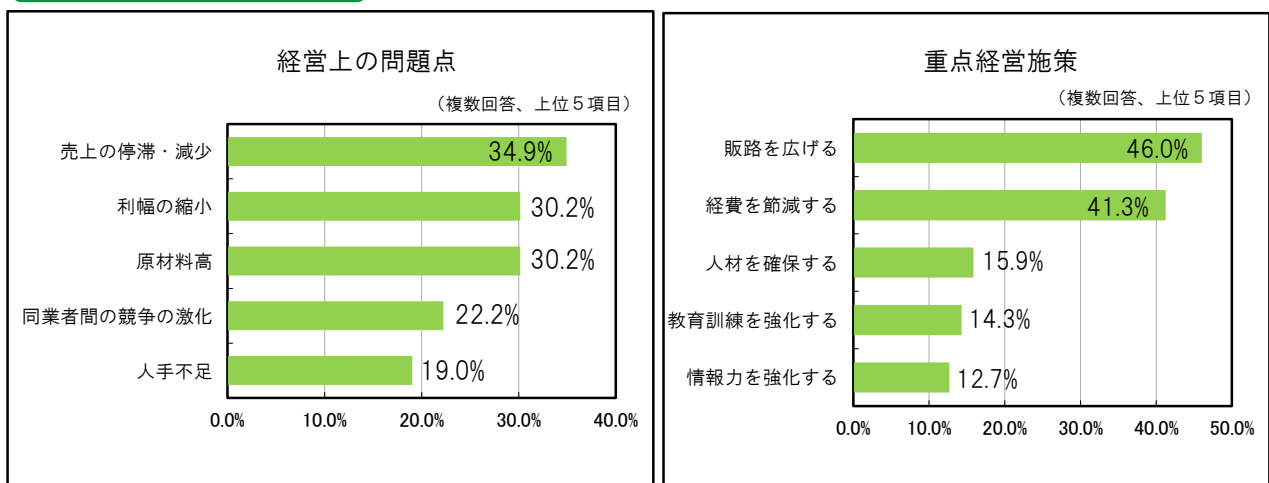


○その他のDI

対前期比でみると、受注残DIは±0.0ポイントの6.3、販売価格DIは+6.3ポイントの31.7、原材料価格DIは+5.7ポイントの52.5、原材料在庫DIは▲1.6ポイントの8.1、資金繰りDIは▲14.3ポイントの▲17.5、設備状況DIは+3.1ポイントの▲4.8となりました。

今後は、原材料在庫DI・資金繰りDIは上昇、受注残DI・販売価格DI・原材料価格DI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が34.9%と最も多く、次いで「利幅の縮小」「原材料高」が共に30.2%、「同業者間の競争の激化」22.2%、「人手不足」19.0%となりました。

【重点施策】

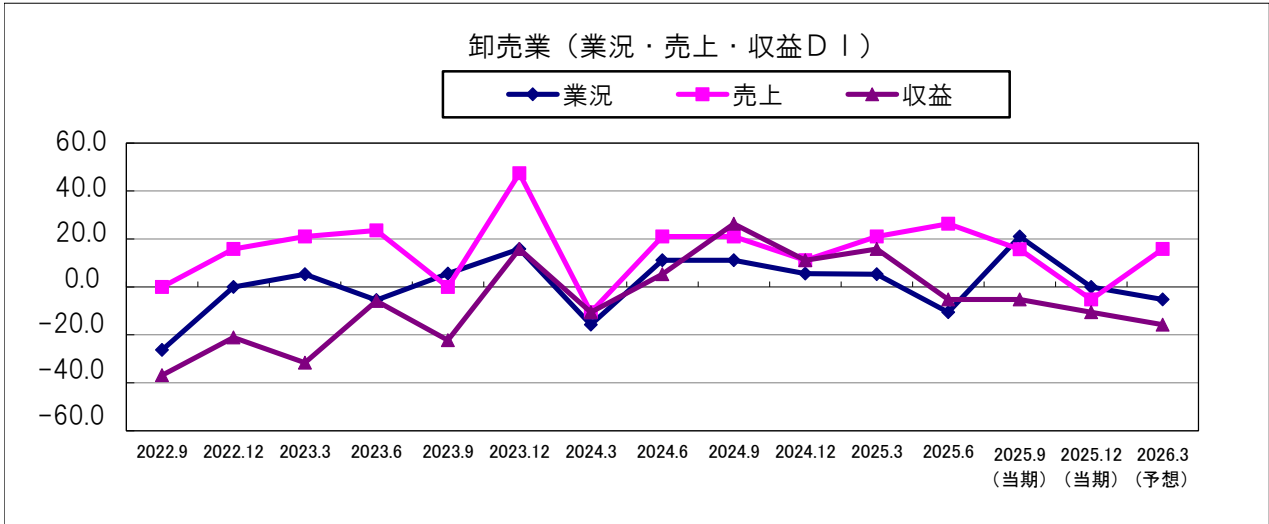
当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」46.0%と最も多く、次いで「経費を節減する」41.3%、「人材を確保する」15.9%、「教育訓練を強化する」14.3%、「情報力を強化する」が12.7%となりました。

卸売業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：売上D Iは改善、業況・収益D Iは悪化の見込み

主要D I 推移

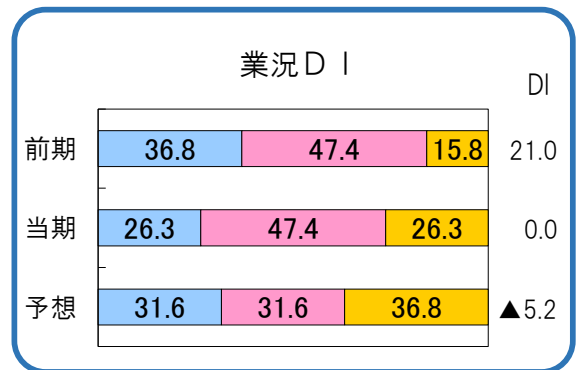
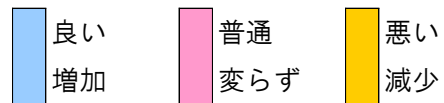


主要D I 構成

○業況D I



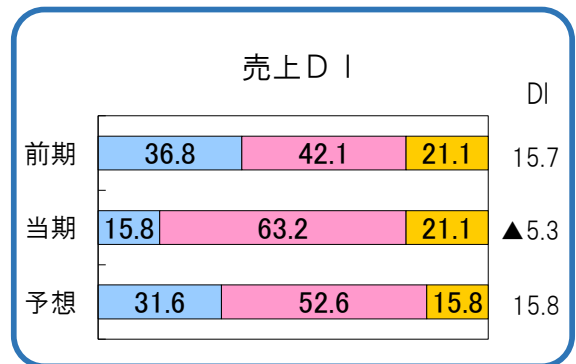
業況DIは、対前期比▲21.0ポイントの0.0(前年同期5.6・前回予想との差▲15.8)と大幅な悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲5.2ポイントの▲5.2と悪化を見込んでいます。



○売上D I



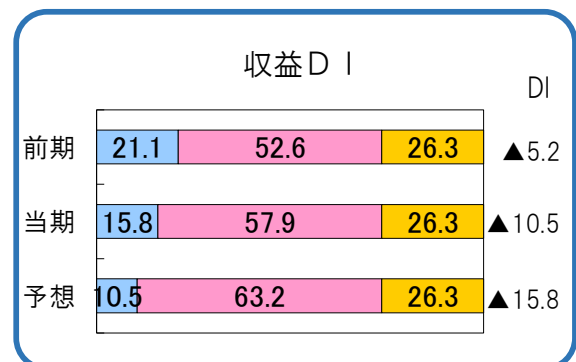
売上DIは、対前期比▲21.0ポイントの▲5.3(前年同期11.1・前回予想との差▲47.4)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+21.1ポイントの15.8と大幅な改善を見込んでいます。



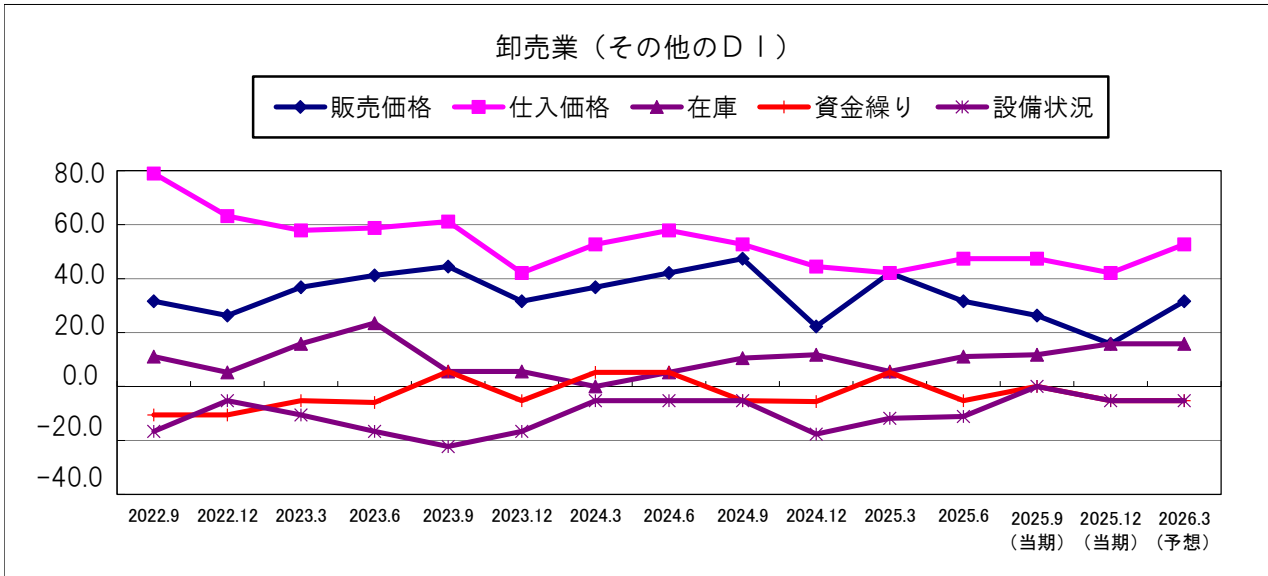
○収益D I



収益DIは、対前期比▲5.3ポイントの▲10.5(前年同期11.1・前回予想との差▲36.8)の悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲5.3ポイントの▲15.8と悪化を見込んでいます。



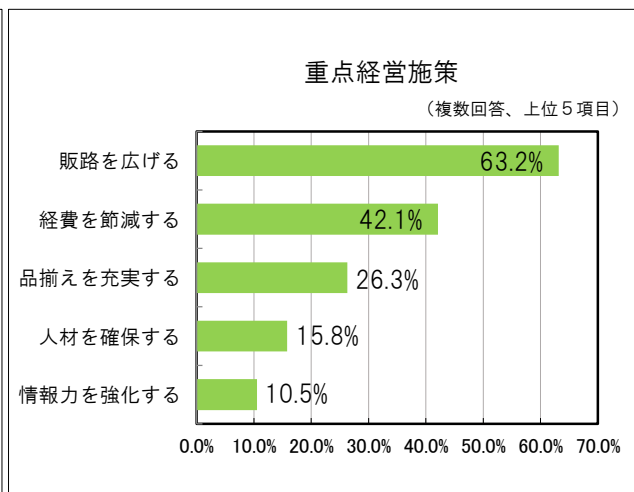
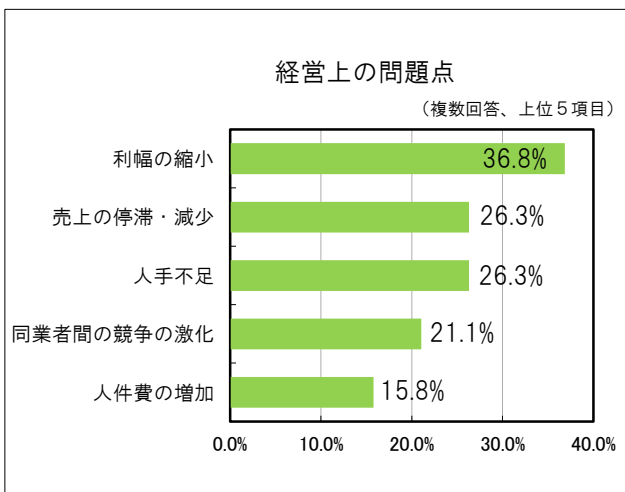
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは▲10.5ポイントの15.8、仕入価格DIは▲5.3ポイントの42.1、在庫DIは+4.0ポイントの15.8、資金繰りDIは▲5.3ポイントの▲5.3、設備状況DIは▲5.3ポイントの▲5.3となりました。今後は、販売価格DI・仕入価格DIは上昇、在庫DI・資金繰りDI・設備状況DIは横這いを見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「利幅の縮小」が36.8%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」「人手不足」が共に26.3%、「同業者間の競争の激化」21.1%、「人件費の増加」が15.8%となりました。

【重点施策】

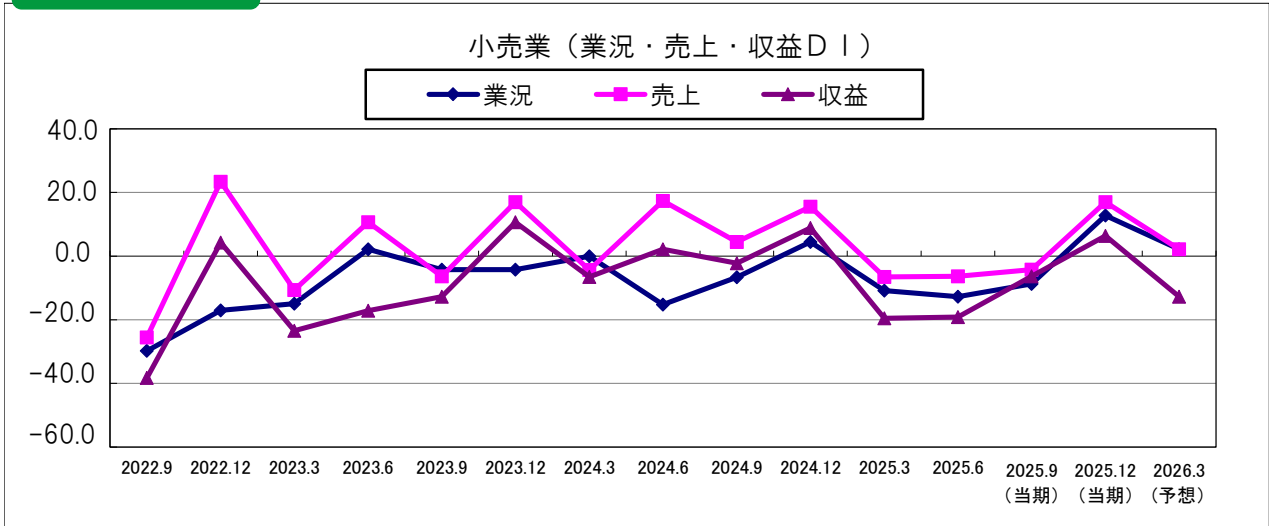
当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が63.2%と最も多く、次いで「経費を節減する」42.1%、「品揃えを充実する」26.3%、「人材を確保する」15.8%、「情報力を強化する」が10.5%となりました。

小売業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

主要D I 推移



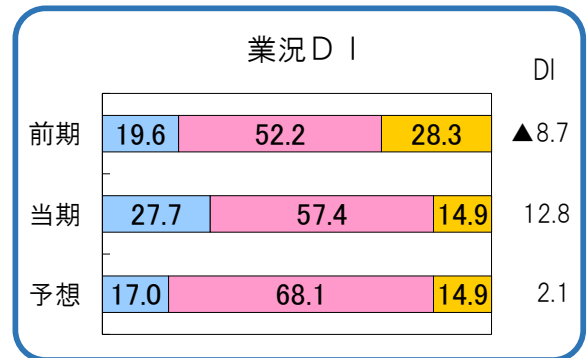
主要D I 構成



○業況D I



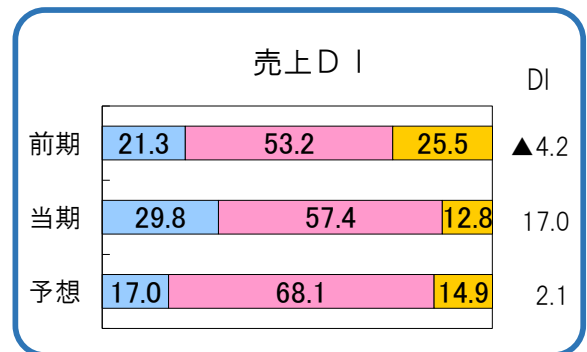
業況DIは、対前期比+21.5ポイントの12.8(前年同期4.4・前回予想との差+19.3)と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲10.7ポイントの2.1と大幅な悪化を見込んでいます。



○売上D I



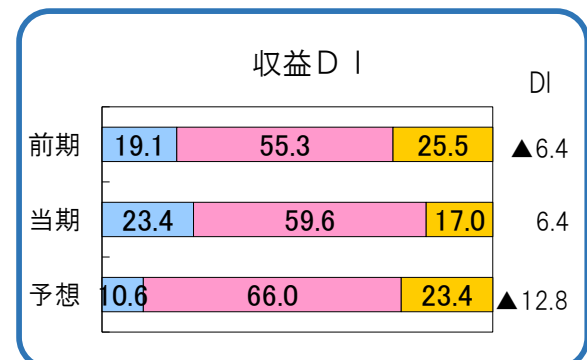
売上DIは、対前期+21.2ポイントの17.0(前年同期15.6・前回予想との差+6.4)と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲14.9ポイントの2.1と大幅な悪化を見込んでいます。



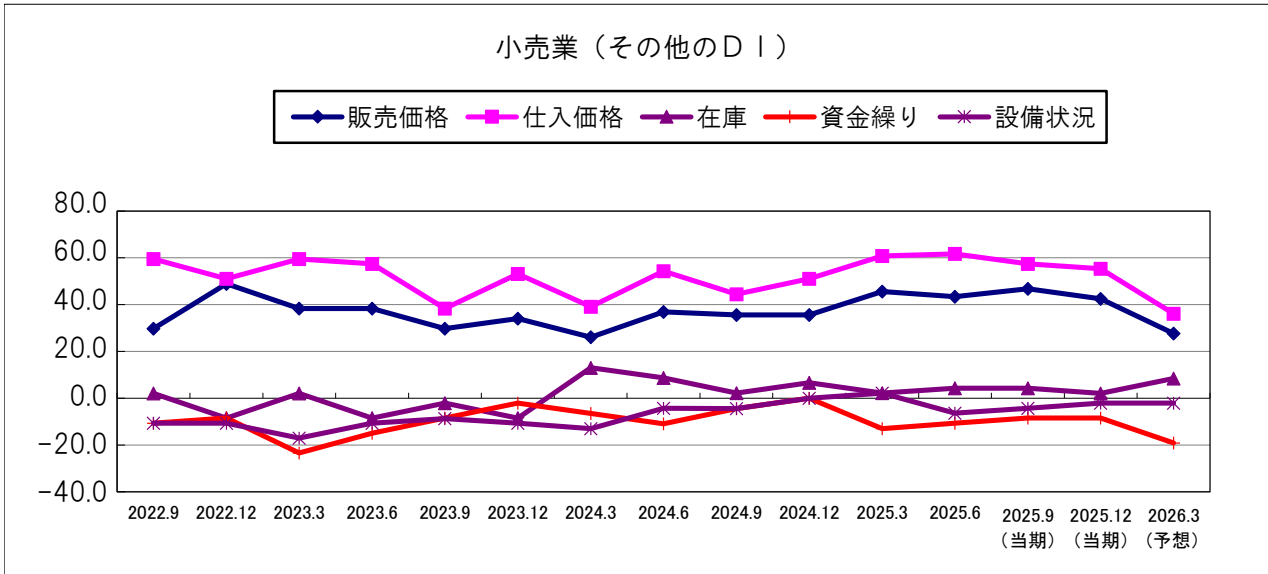
○収益D I



収益DIは、対前期比+12.8ポイントの6.4(前年同期8.9・前回予想との差+0.1)と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲19.2ポイントの▲12.8と大幅な悪化を見込んでいます。



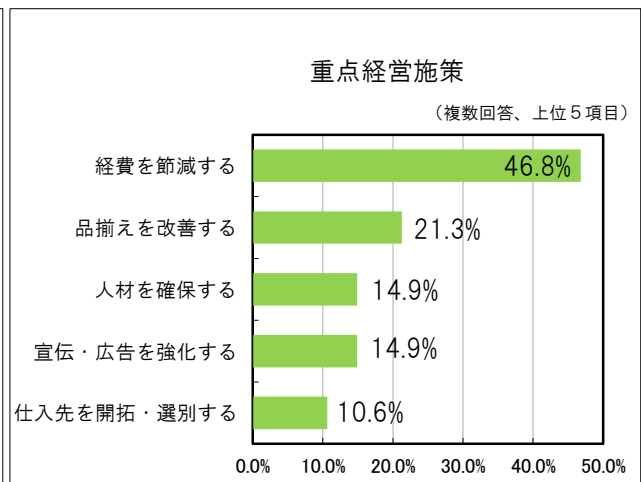
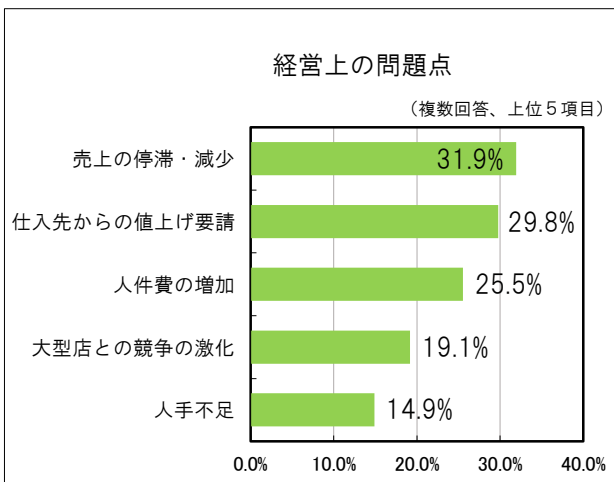
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは▲4.2ポイントの42.6、仕入価格DIは▲2.1ポイントの55.3、在庫DIは▲2.2ポイントの2.1、資金繰りDIは±0.0ポイントの▲8.5、設備状況DIは+2.2ポイントの▲2.1となりました。今後は、在庫DIは上昇、設備状況DIは横ばい、販売価格DI・仕入価格DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が31.9%と最も多く、次いで「仕入先からの値上げ要請」が29.8%、「人件費の増加」25.5%、「大型店との競争の激化」19.1%、「人手不足」が14.9%となりました。

【重点施策】

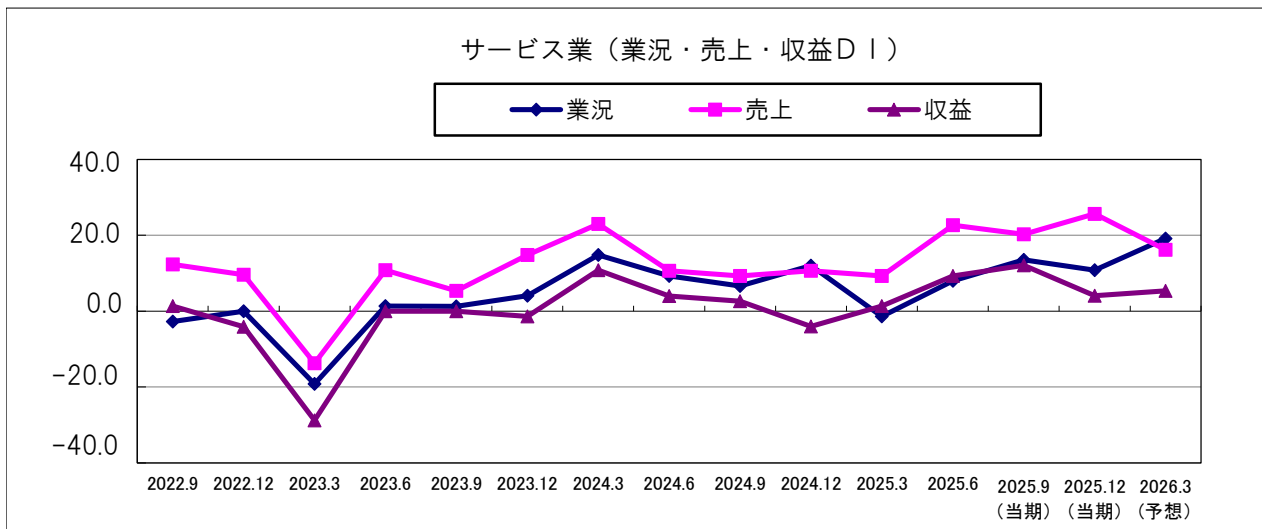
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が46.8%と最も多く、次いで「品揃えを改善する」が21.3%、「人材を確保する」「宣伝・広告を強化する」が共に14.9%、「仕入先を開拓・選別する」10.6%となりました。

サービス業

今期：売上DIは改善、業況・収益DIは悪化

来期：業況・収益DIは改善、売上DIは悪化の見込み

主要DI推移



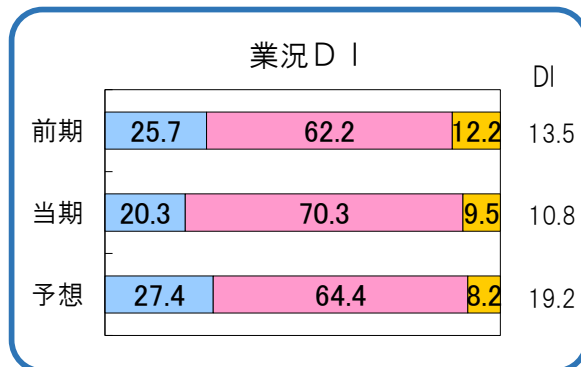
主要DI構成



○業況DI



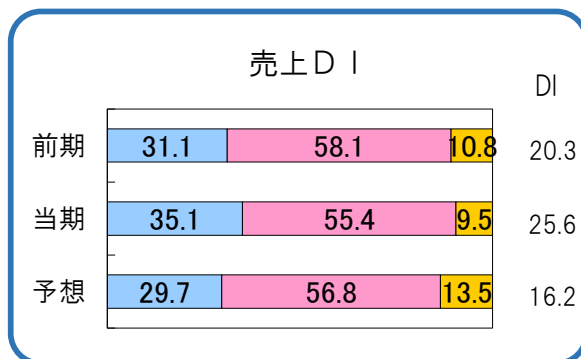
業況DIは、対前期比▲2.7ポイントの10.8(前年同期12.0・前回予想との差▲1.3)の悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+8.4ポイントの19.2と改善を見込んでいます。



○売上DI



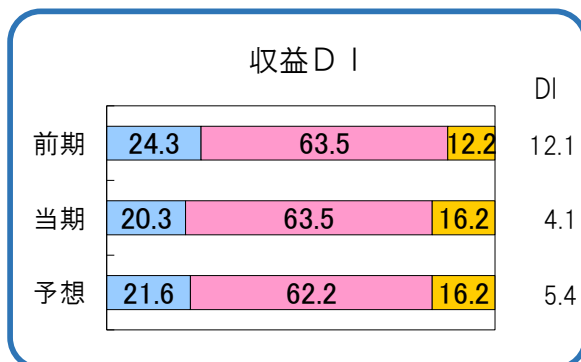
売上DIは、対前期比+5.3ポイントの25.6(前年同期10.7・前回予想との差+4.0)の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲9.4ポイントの16.2と悪化を見込んでいます。



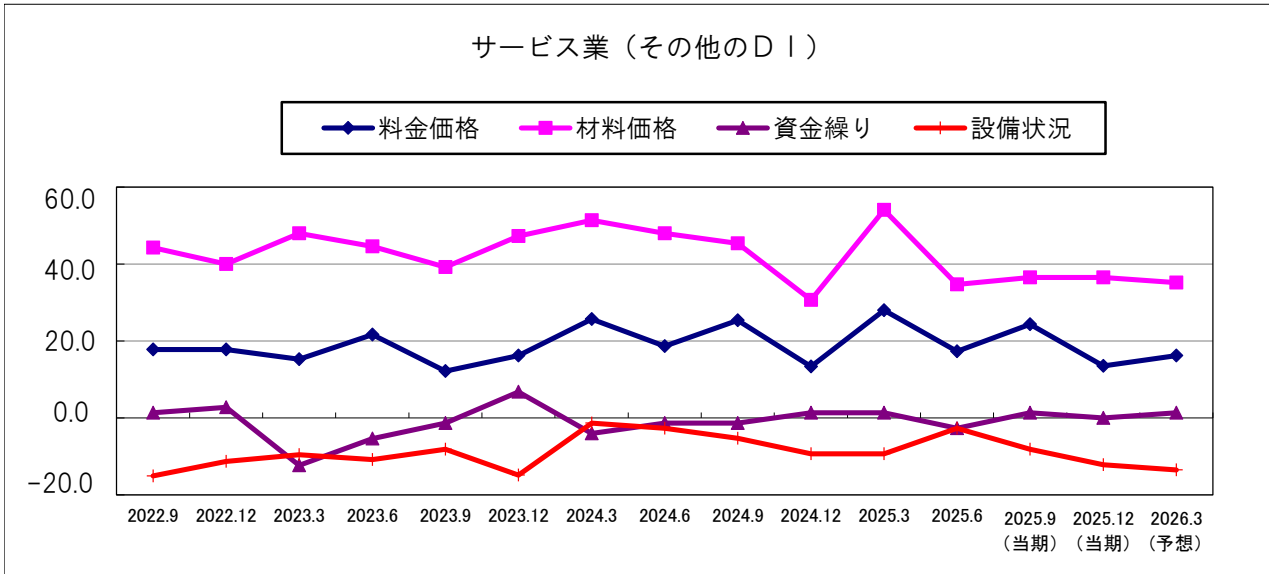
○収益DI



収益DIは、対前期比▲8.0ポイントの4.1(前年同期▲4.0・前回予想との差▲9.4)の悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+1.3ポイントの5.4と改善を見込んでいます。



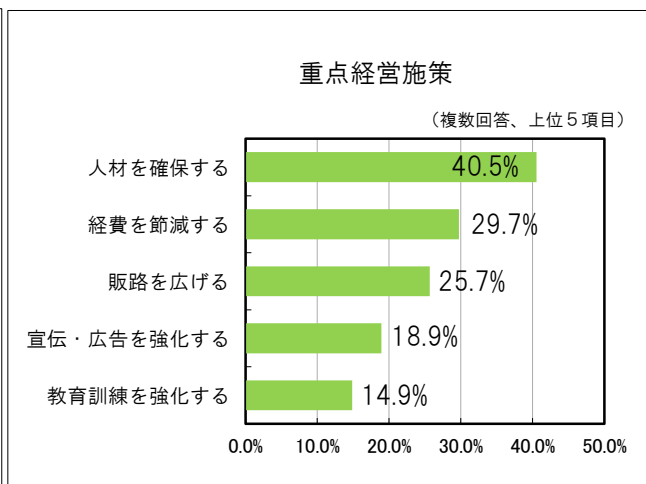
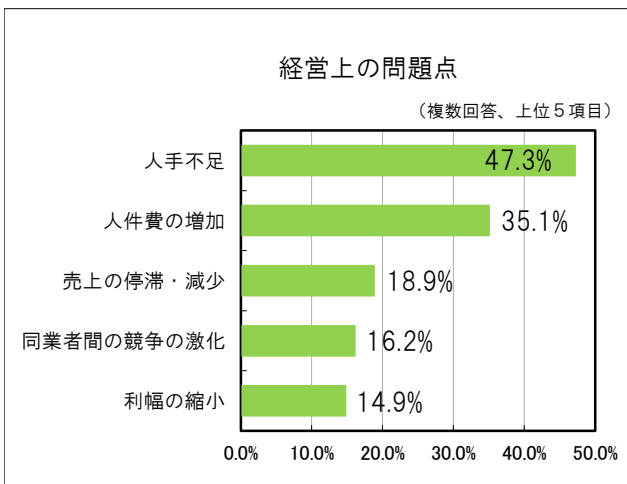
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、料金価格DIは▲10.8ポイントの13.5、材料価格DIは±0.0ポイントの36.5、資金繰りDIは▲1.4ポイントの0.0、設備状況DIは▲4.1ポイントの▲12.2となりました。今後は、料金価格DI・資金繰りDIは上昇、材料価格DI・設備状況DIで低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「人手不足」が47.3%と最も多く、次いで「人件費の増加」が35.1%、「売上の停滞・減少」18.9%、「同業者間の競争の激化」16.2%、「利幅の縮小」14.9%となりました。

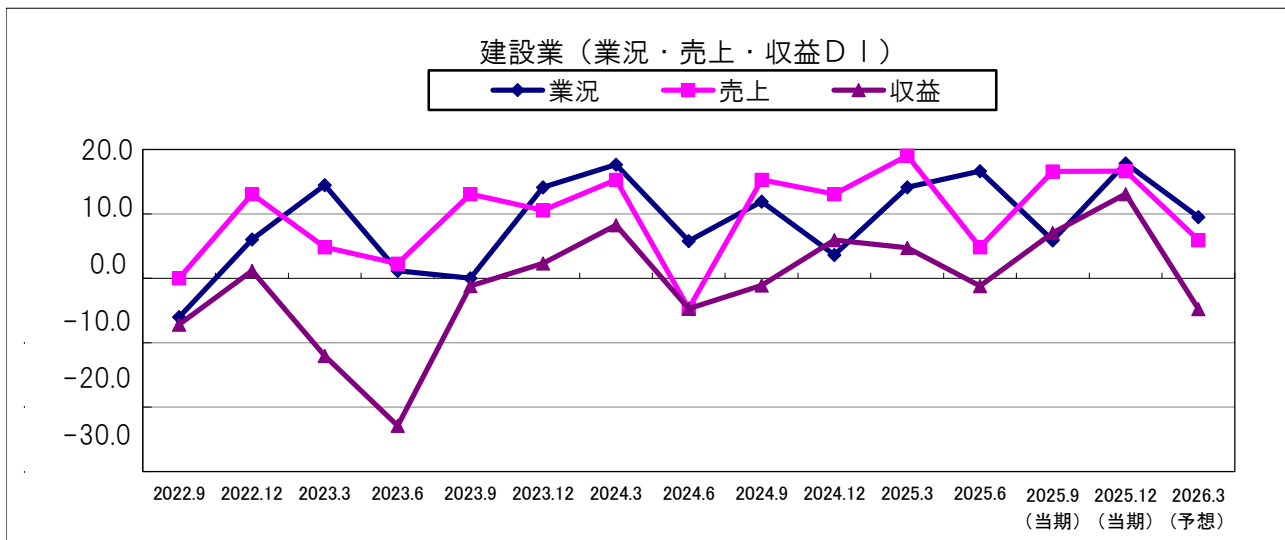
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「人材を確保する」が40.5%と最も多く、次いで「経費を節減する」29.7%、「販路を広げる」25.7%、「宣伝・広告を強化する」18.9%、「教育訓練を強化する」14.9%となりました。

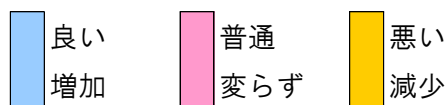
建設業

今期：業況・収益D Iは改善、売上D Iは横ばい
 来期：業況・売上・収益D I共に悪化の見込み

主要D I 推移



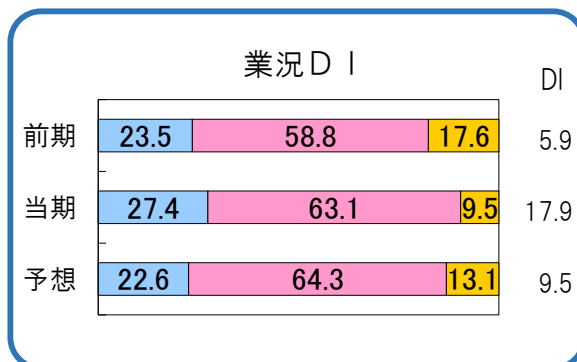
主要D I 構成



○業況D I



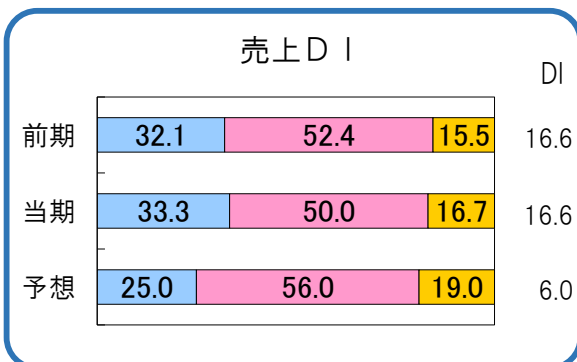
業況DIは、対前期比+12.0ポイントの17.9(前年同期3.6・前回予想との差+7.3)と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲8.4ポイントの9.5と悪化を見込んでいます。



○売上D I



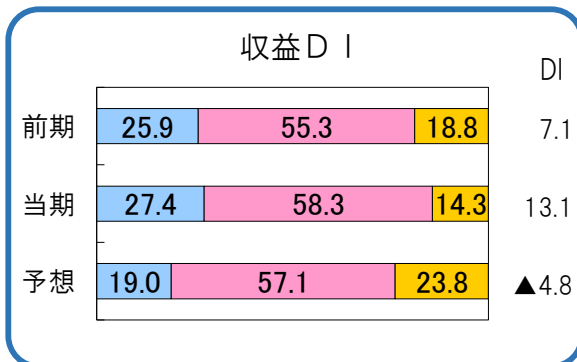
売上DIは、対前期比±0.0ポイントの16.6(前年同期13.1・前回予想との差+7.1)の横ばいとなりました。今後の売上DIについては、対当期比▲10.6ポイントの6.0と大幅な悪化を見込んでいます。



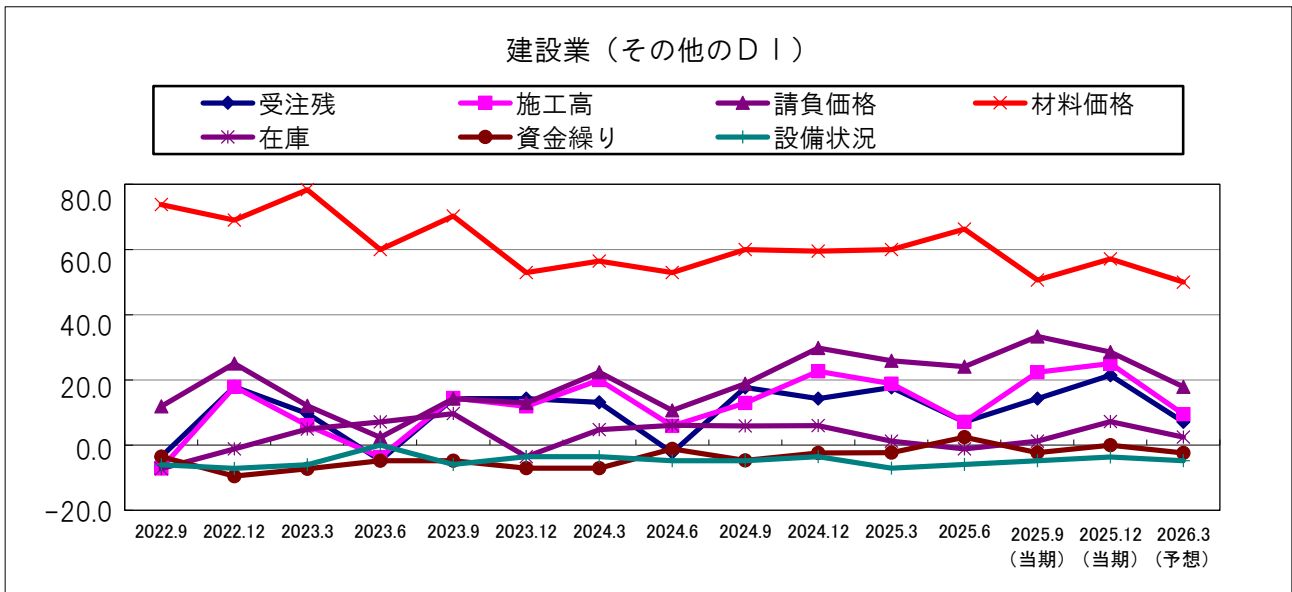
○収益D I



収益DIは、対前期比の+6.0ポイントの13.1(前年同期6.0・前回予想との差+7.2)の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲17.9ポイントの▲4.8と大幅な悪化を見込んでいます。



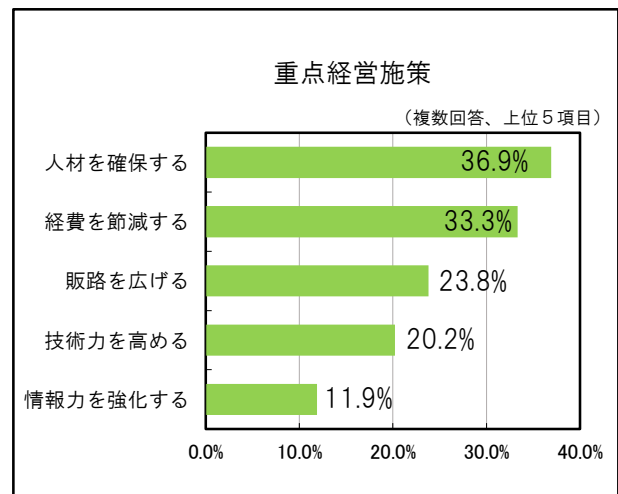
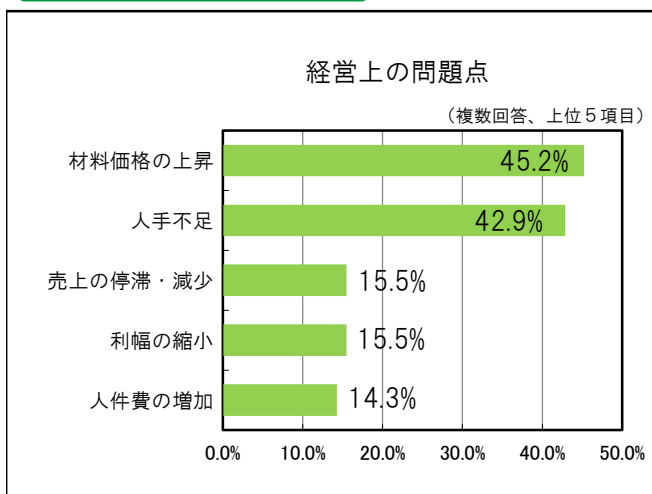
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは+7.1ポイントの21.4、施工高DIは+2.6ポイントの25.0、請負価格DIは▲4.7ポイントの28.6、材料価格DIは+6.5ポイントの57.1、在庫DIは+6.0ポイントの7.2、資金繰りDIは+2.4ポイントの0.0、設備状況DIは+1.2ポイントの▲3.6となりました。今後は、受注残DI・施工高DI・請負価格DI・材料価格DI・在庫DI・資金繰りDI・設備状況DIすべてで低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「材料価格の上昇」が45.2%と最も多く、次いで「人手不足」が42.9%、「売り上げの停滞・減少」「利幅の縮小」が共に15.5%、「人件費の増加」14.3%となりました。

【重点施策】

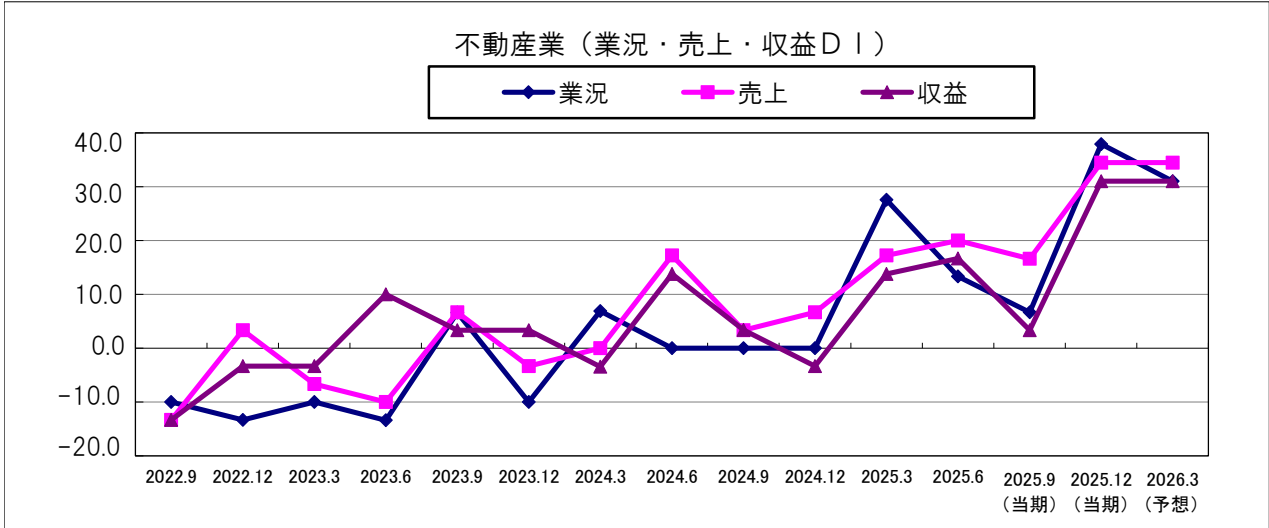
当面の重点経営施策として挙げられたのは「人材を確保する」が36.9%と最も多く、次いで「経費を節減する」が33.3%、「販路を広げる」23.8%、「技術力を高める」20.2%、「情報力を強化する」11.9%となりました。

不動産業

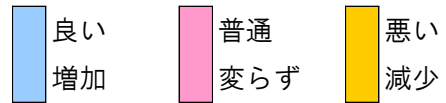
今期：業況・売上・収益D I共に改善

来期：売上D Iは横ばい、業況・収益D Iは悪化の見込み

主要D I 推移



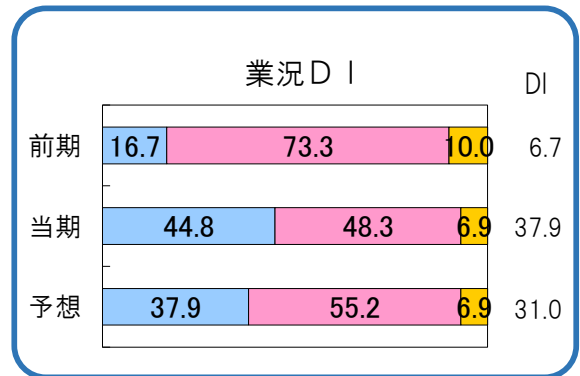
主要D I 構成



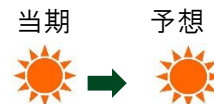
○業況D I



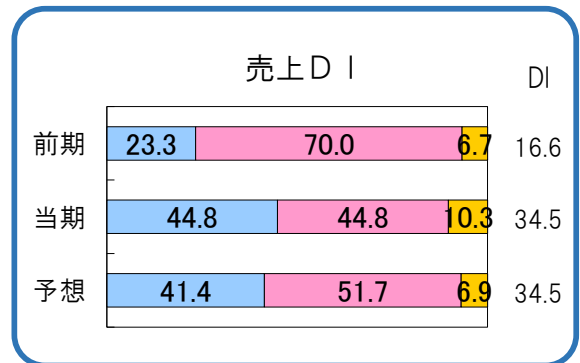
業況DIは、対前期比+31.2ポイントの37.9（前年同期0.0・前回予想との差+21.2）と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲6.9ポイントの31.0と悪化を見込んでいます。



○売上D I



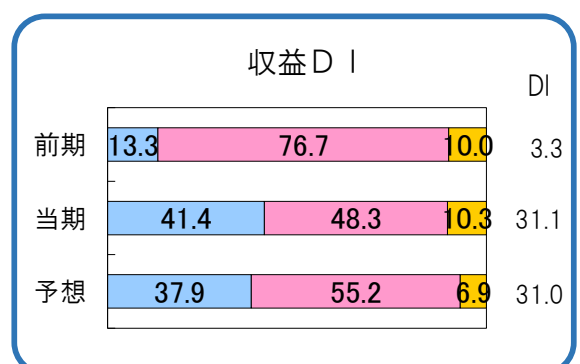
売上DIは、対前期比+17.9ポイントの34.5（前年同期6.7・前回予想との差+11.1）と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比±0.0ポイントの34.5と横ばいを見込んでいます。



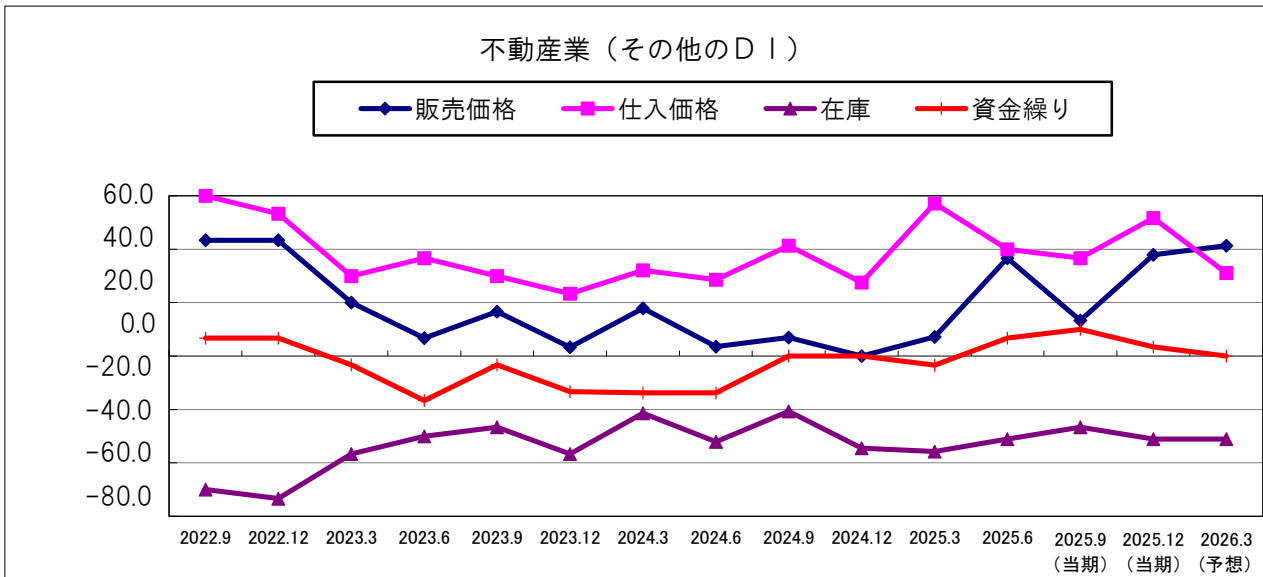
○収益D I



収益DIは、対前期比+27.8ポイントの31.1（前年同期▲3.3・前回予想との差+17.8）と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲0.1ポイントの31.0と悪化を見込んでいます。



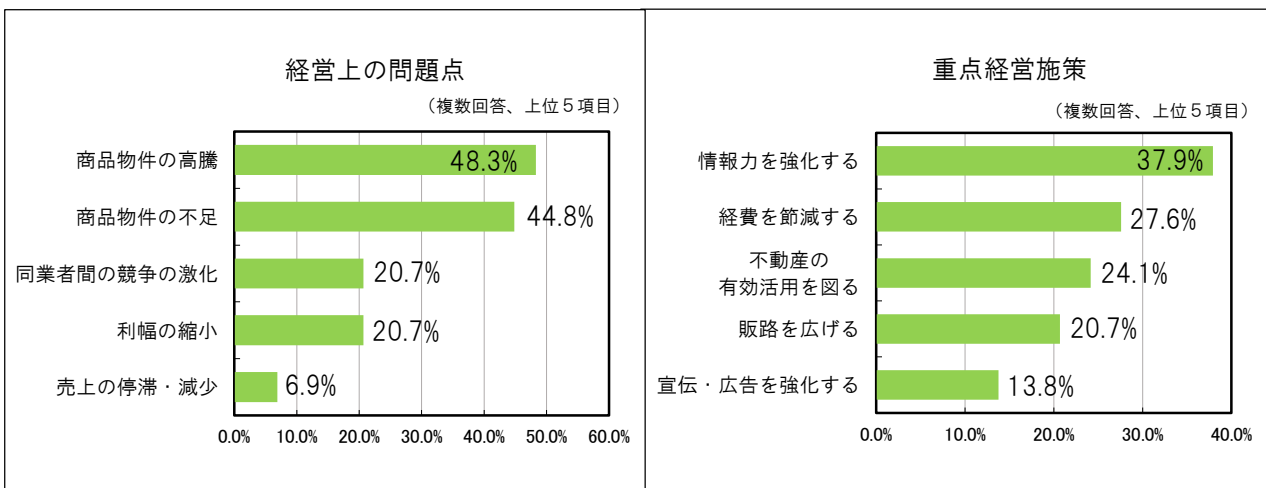
その他のDI推移



○その他のDI

対前期比で見ると、販売価格DIは+24.6ポイントの37.9、仕入価格DIは+15.0ポイントの51.7、在庫DIは▲4.3ポイントの▲31.0、資金繰りDIは▲6.6ポイントの3.4となりました。今後は、販売価格DIは上昇、在庫DIは横ばい、仕入れ価格DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

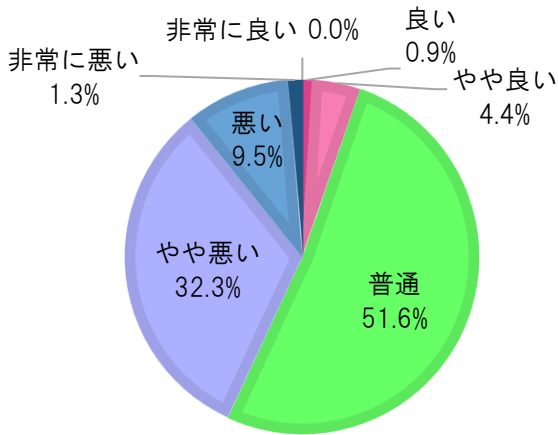
経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の高騰」が48.3%と最も多く、次いで「商品物件の不足」が44.8%、「同業者間の競争の激化」「利幅の縮小」が共に20.7%、「売上の停滞・減少」が6.9%となりました。

【重点施策】

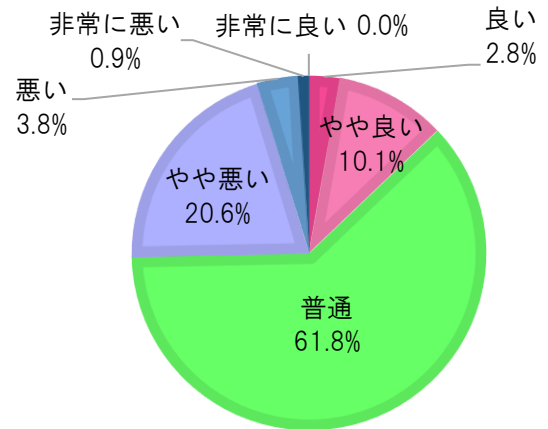
当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」37.9%、「経費を節減する」27.6%、「不動産の有効活用を図る」24.1%、「販路を広げる」20.7%、「宣伝・広告を強化する」13.8%となりました。

単位：（％）

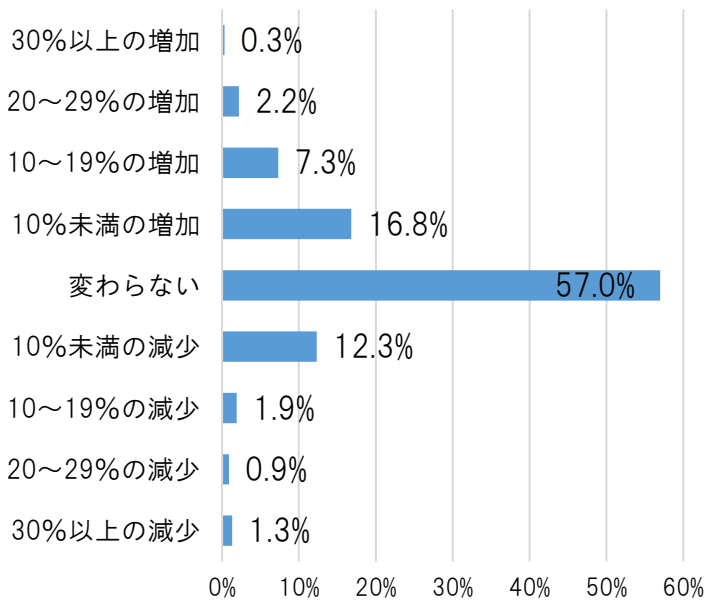
1 2026年の日本の景気をどのように見通していますか。



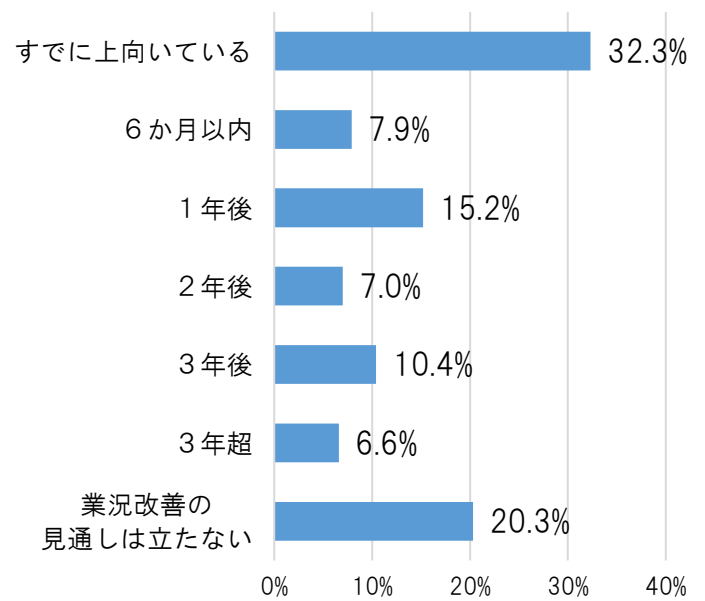
2 2026年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。



3 2026年において売上額の伸び率は、2025年と比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



4 自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



【アンケート調査員のコメント（抜粋）】

製造業：材料価格の高騰を転嫁することが課題。中国の景気に左右される面あり。人手不足も従前からの課題。
 小売業：物価高もあり、一般消費者の生活まで影響が出ており、景気が良いとは言えない。
 サービス業：材料費高騰の影響はあるも、一部企業では顧客からの同意を得ることができており、売上に転嫁できている。
 建設業：財務上問題はないが材料の高騰、人材不足の影響は多少ある。
 不動産業：地価の高いエリアを避け、比較的価格の安定しているエリアを中心に仕入れを行っている。

未来をつなぐ、ともに前へ

ひらしん Big Advance

本紙に表示されている二次元コードは、スマートフォンで「カメラ」を起動し、読み取ることで、関連のWEBサイトがご覧になれます。

※一部、標準でバーコードの読み取り機能が搭載されていない機種がございます。



全国7万社以上が利用中の会員制のWEBサイト！

全国**85**の地域金融機関が連携し、お客様の経営課題の解決をサポートします！



広域マッチング



全国の地域金融機関が連携し、ニーズに応じた幅広いビジネスマッチングが可能です



福利厚生サービス



全国の参加企業がクーポンを提供「FUKURI」や「安否確認サービス」を利用できます



補助金・助成金情報



各省庁や自治体が発信する補助金や助成金情報を検索・閲覧することが可能です



ホームページ作成



項目に入力して写真を入力するだけでホームページを作成でき、スマホ対応も自動で行われます



従業員チャット



社内コミュニケーションとしてのチャットや、金融機関担当者とのチャットが利用できます



安否確認



BCP(業継続計画)対策として利用可能。緊急時に従業員の安否確認が行えます



ちゃんと請求書



インボイス制度にも対応。シンプルな操作と見やすい画面で、誰でも簡単に請求書が作成できます

※オプション機能。Big Advanceとは別料金となります。(裏面参照)



ちゃんと勤怠

byネクストICカード



簡単に勤怠管理の効率化が実現。ICカードでの打刻や、交通費精算、経費精算機能も便利に使える

※オプション機能。Big Advanceとは別料金となります。(裏面参照)

「ひらしん Big Advance」に関するお問合せは、お取引店舗までご連絡ください

<https://www.hirashin-ba.jp/>



TRibank Hiratsuka
平塚信用金庫



TRiBank Hiratsuka
平塚信用金庫

平塚信用金庫 営業統括部
平塚市紅谷町11-19
Tel.0463-24-3031